

としょかん つうしん

2月号



2月号のテーマは「待ち遠しい春・待ち遠しいもの」です。寒い冬の季節、動物や草花にとっても待ち遠しい春のぬくもり。一足お先に絵本の世界で、春の訪れを感じてみてはいかがでしょうかでしょう。

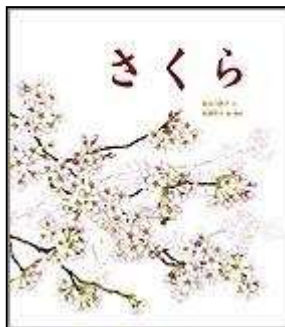


「ちいちゃんとまめまき」

年少くらいから

しみずみちを / 作
ほるぷ出版

ちいちゃんはもうじき幼稚園にはいります。幼稚園をのぞくと、「おには一そと、ふくは一うち」、豆まきをする光景が…。ちいちゃんもお面をつくって豆まきを始めます。豆をまいたり、年の数だけ豆をたべたり、ちいちゃんの豆まきの様子が、ほほえましく描かれています。



「さくら」

年中くらいから

長谷川摂子 / 文 矢間芳子 / 絵・構成
福音館書店

春をいろどる存在感のある桜。花が散ったあとの姿は、あまり注目されていないかもしれませんが、見事に咲きほこるのはほんのいつか。花びらが散ると、やがて桜の実がなり、夏には虫たちでにぎやかです。一年を通して色とりどりに変化する桜の見どころを、こまやかな絵とともに親子でじっくり感じてみてはいかがでしょうかでしょう。



「まりーちゃんとひつじ」

年長くらいから

フランソワーズ / 文・絵 与田準一 / 訳
岩波書店

まりーちゃんが羊のぱたぽんに言います。「ぱたぽん、おまえはいつかこどもを一ぴきうむでしょう。そしたら…」ぱたぽんも答えます。「ええ、こどもが一ぴきできるでしょう。そしたら…」二匹なら、三匹ならと夢はふくらみ…。素朴で温かみのある絵と、くり返しのひびきが心に残る絵本です。

※対象は目安です。